

2004年版

環境報告書



2005年 5月

日東精工株式会社

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、
みんなで努力して行動します」

目次

会社概要	2
ご挨拶	3
環境方針	4
環境目標と実施内容	5
環境マネジメントシステム	7
環境品質保証	9
環境会計	1 1
環境パフォーマンスデータ	
二酸化炭素排出量	1 3
廃棄物排出量	1 4
水質汚濁物質量	1 5
化学物質管理	1 6



表紙：白井大町藤公園
(兵庫県朝来市和田山町)

ごあいさつ

本年2月に京都議定書が発効し、世界的な環境の時代が本格的にスタートしました。今後は目標達成に向けた環境経営が一段と加速することになります。

当社は2000年5月にISO14001を認証取得して以来、環境に負荷をかけない製品開発を積極的に進めてきました。その一つが2003年3月から量産を始めました三価クロムクロメート製品です。これは2006年7月から発効されるヨーロッパの特定物質規制（RoHS指令）の対象である六価クロムを使用しないメッキ製品で、お客様の評価、ご支持を得て順調に数量を伸ばしています。

安全で安心してお客様に使っていただくことを第一に、引き続き有害物質を使わない、含まない製品開発を進めてまいります。

地球温暖化の原因となります二酸化炭素（CO₂）の排出量削減は、一つのことを解決すればすむ問題ではありません。昨年はCO₂排出量削減策の一環として、生産システムでは高効率生産設備や省エネ機器の導入を進めました。また生産プロセスでは廃棄物発生量の削減と再利用化の促進、梱包材料の使用量の削減などに取り組み、環境保全のためのモノづくりをさらに強化していく所存でございます。

環境や社会に対して社会的責任が果たせない企業に未来はありません。私たち日東精工は開発、生産などすべての企業活動において、「環境負荷の低減を促進するモノづくり、環境性能に優れた製品の提供」を基本とし、世界で信頼される企業を目指してまいります。」

この一年間の環境活動の内容と成果のまとめをここにご報告させていただきます。

ご一読いただきご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

2005年5月31日



代表取締役社長 由良 龍文

環境基本方針、基本理念に従い環境に配慮した事業活動を行っております。



環境基本方針

企業活動を展開する上において、環境保全、環境保護を最重点とし、地域環境、地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

基本理念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境に負荷を与えない、環境にやさしい、地域社会の皆さんに信頼していただける会社を築いていきます。

行動指針

- 1 . 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
- 2 . 省エネルギー、省資源に努めます。
- 3 . 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
- 4 . 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
- 5 . 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
- 6 . 環境意識の向上を図り、全員で取り組みます。
- 7 . 地域との共栄を図り、地域への貢献と信頼を得るよう努めます。

社長コミットメント

当社は事業活動として、工業用ファスナ - 製品等の製造販売を行い、社会に貢献してまいります。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取り組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

「私達は、環境にやさしい企業を築くため、

みんなで努力して行動します」

をスロ - ガンに、経営層をはじめ全従業員が地球環境と地域環境を念頭におき、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

- 1 . 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で全員で取り組み、環境目的および環境目標を設定して推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
- 2 . 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
- 3 . 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
- 4 . 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に、環境力 - ドを配布し周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2005年5月12日 代表取締役社長 由良 龍文

2004年環境目標と実施内容

項目	2004年目標	2004年実績	達成率
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・定期審査受審 ・環境影響評価 ・内部環境監査 		
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・環境担当者会議 ・ブロック環境委員会 ・各小委員会 ・教育、訓練 ・環境報告書 ・公害防止協議会 		
環境品質保証	<ul style="list-style-type: none"> ・不使用証明書、MSDS ・環境品質内部監査 ・定期測定 ・有害物質削減 		
法令協定自主基準の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・排水、排ガス、騒音自主基準値遵守 ・グリーン調達基準書遵守 		
二酸化炭素排出量の削減 売上高原単位 (排出量/売上高)	排出量 2,567t以下 原単位目標 2.18	排出量 2,562t 原単位実績 2.00	原単位 109%
水質汚濁物質の削減 売上高原単位 (排出量/売上高)	排出量 6.71t以下 原単位目標 0.62	排出量 6.66t 原単位実績 0.52	原単位 119%
産業廃棄物の低減と リサイクル率向上 売上高原単位 (排出量/売上高)	排出量 1,261t以下 原単位目標 1.11 リサイクル率 68%	排出量 1,664t 原単位実績 1.30 リサイクル率 81%	原単位 85% リサイクル率119%
化学物質の削減	塩化メチレン、フロン全廃	塩化メチレン、フロンとも全廃はできませんでした	
汚染予防	<ul style="list-style-type: none"> ・漏洩対策の実施 ・床面オイルパン設置 		

2004年環境目標と実施内容

実施状況

環境影響評価は毎年見直しを行いません。教育は管理監督者、部門教育、特定業務教育を行いました。内部環境監査は毎年3月に実施しています。

社内環境管理委員会は全社委員会、ブロック委員会、各小委員会で開催しています。環境報告書は会社のホームページに掲載しています。地元自治会と公害防止協議会を継続して開催し、環境問題（水質、騒音等）や周辺整備等について協議を行い、解決を図っています。また綾部市由良川花壇展に毎年参加しています。

お客様へ環境品質を満たした製品を提供するために、環境品質保証制度を設置し、製品や原材料中に有害物質が含まれていないかどうかの調査を行っております。また協力工場にも製品中に有害物質が含まれていない証明を提出していただいています。

法的要求事項は全て満たしています。また法的違反や不具合の発生はありません。排水において自主基準値を越えました。対策として排水処理装置を新設いたしました。

二酸化炭素排出量は前年度と同数値となりました。内訳は電力消費量対前年度比6%増となりました。燃料消費量は1%減となりました。廃棄物の埋立量を13%削減しました。
1. 電力量削減対策を実施し、28万kwh/年削減することができました。
2. 廃棄物は埋立していた物を社外原料として再利用化しました。

水質汚濁物質排出量は50kgの削減にとどまりました。新たに排水処理装置を設置しました。

産業廃棄物は403tの増加となりました。埋立廃棄物の再資源化によりゼロエミッションに近づきました。

代替洗浄として、アルカリ洗浄機を新設しましたが、全ての変更をすることはできませんでした。

油などの床面漏れ対策を行いました。新設設備のクロメート装置やアルカリ洗浄機にはオイルパンを設置しています。地下水の監視測定を継続しています。

環境マネジメントシステム

ISO14001 認証範囲

認証事業所

・本社工場・八田工場

認証番号 JQA - EM0865 (2000年5月19日付)



環境目標

環境影響評価にて、環境負荷を把握し、環境負荷を削減するために、目標を決め改善活動を行っています

管理組織

環境委員会

環境管理担当者会議にて基本施策や年間活動計画を立案し、実施、展開は、各ブロックに設置した委員会や部門が行っています。また専門的な小委員会において企画立案調査研究を行っています。

社長

環境管理責任者	環境管理担当者会議	各関係小委員会	教育訓練 / 大気・悪臭 / 騒音・振動
本社ブロック	事務局(環境整備課)		有機溶剤 / 廃棄物・リサイクル
開発生技部ブロック	内部環境監査小委員会		水質 / 油 / 省エネ / 省資源
ファスナー本社ブロック			
ファスナー八田ブロック			
制御システム工場			
城山工場			
各支店			

内部環境監査

環境管理システムの運用状態や目標の執行状態を見るため内部環境監査を毎年1回行っています。

教育

教育名	対象	内容等
新入社員 管理監督者	新入社員 管理監督者 役員	ISO14001 関係 環境方針・目的目標
部門教育	従業員	部門目標・計画
特定業務教育	特定業務従事者	特定業務の環境への影響 MSDS (安全データシート) 等



環境マネジメントシステム

緊急訓練



毎年緊急事態を想定し各種訓練を実施しています。火災や油、薬品の流出等万一の時に備え、手順に従い訓練を行い、緊急体制や緊急装備品で対応ができるか。手順に不具合がないか検証しています

法規制順守

- 1 . 特定工場、特定施設の管理、水質報告等法的な届出は全て行っています。
- 2 . 水質基準の遵守等法的な違反事項はありません。

環境リスク

- 1 . 漏洩防止
 - ・ 機械設備からの機械油や、使用薬品が床面に漏洩し土壌汚染を起こさないように床面へのFRP工事や、機械オイルパンの設置を推進しています。
- 2 . 地下汚染監視
 - ・ 化学物質等による地下汚染を監視するために、監視井戸を設置し、定期測定を行っています。
- 3 . 調査と浄化
 - ・ 塩素系有機溶剤による土壌汚染、地下水汚染状況を調査し改善が必要なところは、浄化活動を行っています。
- 4 . 環境に関する控訴、補償等の交渉はありません。

環境コミュニケーション

環境報告書

2000年より環境報告書を作成し、会社ホームページに掲載しています
アドレス

<http://www.nittoseiko.com>

地域活動

地域連絡会

地域との対話を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています

内容：会社の環境管理活動や地域との関わり
緑化活動

5月に開催される綾部市みどり公社の由良川花壇展に毎年参加しています。



綾部市由良川花壇展

環境品質保証

R o H S 指令	Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment < 電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令 > 電気・電子機器の生産から処分までの過程において、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ディフェニルの6物質の使用が2006年7月1日から禁止されます。
E L V 指令	End of Life Vehicles < 使用済み自動車に関する欧州議会及び理事会指令 > EUにおける3.5トン以下のすべての自動車と商用車は、その役目が終わると環境に配慮した方法で処理され、リサイクルされなければならない。 2003年7月以降、鉛、カドミウム、水銀、六価クロムなどの重金属は、ごく一部の例外を除き使用が禁止されている。

用制限物質	R o H S 指令(案)	E L V 指令
鉛 (Pb)	1000ppm以下	1000ppm以下
カドミウム (Cd)	100ppm以下	100ppm以下
水銀 (Hg)	1000ppm以下	1000ppm以下
六価クロム (Cr6+)	1000ppm以下	1000ppm以下
PBB(ポリ臭化ビフェニル)	1000ppm以下	
PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)	1000ppm以下	

環境品質保証体制

部品・材料における環境関連物質を管理し、お客様に安心してご使用していただける商品の提供を行っています。
購入原材料等につきましては、不使用証明書を添付していただき、環境関連物質の管理を行っています。

環境関連物質に関する方針

基本理念

日東精工は、地球環境の環境保全の有用性を当社の優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。

環境関連物質に関する方針

日東精工株式会社は、「顧客に対し最大の満足を得る」をビジョンとし、材料、機構部品の調達、販売にかかわる環境関連物質の指定を以下の様に定め使用禁止、全廃を図る。

- 使用禁止物質
 - カドミウム、及びカドミウム化合物
 - PBB(ポリプロモビフェニル)類、及びPBDE(ポリプロモジフェニルエーテル)類
 - PCB(ポリ塩化ビフェニル)類
 - ポリ塩化ナフタレン類
 - 有機すず化合物(トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類)
 - 石綿(アスベスト)
 - ホルムアルデヒド
 - アゾ化合物(分解により、アミンは発生する可能性があるもの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分)
- 全廃物質
 - 水銀、及び水銀化合物
 - PBB、PBDE以外の有機窒素化合物(臭素系難燃剤)
 - 塩素化パラフィン(塩素系難燃剤・可塑剤)
- 顧客仕様により禁止する物質
 - 六価クロム化合物
 - PVC(ポリ塩化ビニル)及びPVC混合物
 - 鉛及び鉛化合物
 - 塩化メチレン
 - HFC(代替フロン)類

日東精工株式会社は、上記環境関連物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。

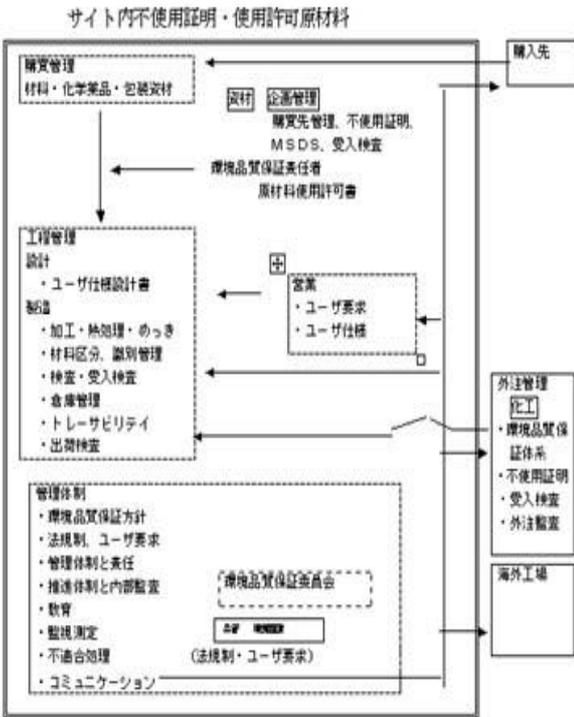
尚、環境関連物質の明細・使用禁止の期限・全廃の期限を別紙「環境関連物質全廃・削減計画表」に記し徹底する。

この環境関連物質に関する方針は、全社員に周知すると共に、ユーザー先からの要求に対して開示する。

2005年4月1日

日東精工株式会社
環境品質保証経営責任者
専務取締役 塩田 展康

環境品質保証体系



環境品質保証

グリーン調達認定

環境品質保証システムを構築し、環境にやさしい商品をお客様に提供できるよう管理体制を整備しています。

お客様より、グリーン調達の認定をいただき、ご安心して商品をご使用いただいています。

製品製造のコンセプト		
地球温暖化防止 (CO2の削減)	グリーン製品 (有害物質の抑制)	資源循環 (資源循環)
電力 削減 油類 削減 LPG 削減 フロン全廃	有害物質の排除 化学物質負荷削減 グリーン購買	リサイクルの推進 産廃の削減 地下汚染の防止
性能 + 品質 + 価格 + デザイン + エコロジー		

三価クロメート製品

RoHS指令に対応すべく三価クロメートへの切替をいち早く取組み
自動処理ラインにて、基準色、黒色、赤色、青色の量産を行っております。



環境会計

集計範囲：（本社・八田工場）

対象期間：2004年 1月 1日～2004年12月31日

単位：千円

環境保全コスト					
分類	類	主な取組の内容及びその効果	投資額	費用額	
(1) 事業エリア内コスト	(1)-1 公害防止コスト	大気汚染防止のためのコスト	排ガス処理装置修繕		1,530
		水質汚濁防止のためのコスト	排水処理費、浄化槽費	18,029	23,369
		土壌汚染防止のためのコスト			
		騒音防止のためのコスト	防音パネル設置・防音窓改修		5,274
		振動防止のためのコスト			
		悪臭防止のためのコスト			
		地盤沈下防止のためのコスト			
	小計	その他の公害防止のためのコスト			
		小計		18,029	30,173
	(1)-2 地球環境保全コスト	地球温暖化防止及び省エネルギーコスト	コンプレッサー更新、配管工事	500	14,670
		オゾン層破壊防止のためのコスト	アルカリ洗浄機新設	23,130	14,150
		その他の地球環境保全のためのコスト			
	小計			23,630	28,820
	(1)-3 資源循環コスト	資源の効率的利用のためのコスト	上水改善、工業用水改善		2,480
		産業廃棄物のリサイクル等のためのコスト	脱水機改造	2,500	
		一般廃棄物のリサイクル等のためのコスト			
		産業廃棄物の処理・処分のためのコスト	廃棄物処分費		20,459
		一般廃棄物の処理・処分のためのコスト			
		その他の資源循環に資するコスト			
小計			2,500	22,939	
(1)-1～(1)-3までの合計					
(2) 上・下流コスト	環境物品等の調達購入に伴う通常の購入との差額コスト				
	環境物品等を提供するための追加コスト				
	容器包装等の低環境負荷化のための追加コスト				
	製品商品等の回収、リサイクル、適正処理コスト	製品の無害化対策	732	2,500	
	その他の上・下流コスト				
小計			732	2,500	
(3) 管理活動コスト	環境マネジメントシステムの整備、運用のためのコスト	システム運用、定期審査料		4,696	
	環境情報の開示及び環境広告のためのコスト				
	環境負荷監視のためのコスト	環境測定		900	
	従業員への環境教育等のためのコスト	部門教育、特定業務教育		2,568	
	事業所及事業所周辺の緑化、美化等の環境改善コスト	美化作業、周辺整備	1,860	3,588	
小計			1,860	11,752	
(4) 研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発コスト				
	製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発コスト				
	その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制のための研究開発コスト				
小計					
(5) 社会活動コスト	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト				
	環境保全を行う団体等に対する寄付、支援のためのコスト				
	地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提供等の各種の社会的取組のためのコスト				
小計					
(6) 環境損傷対応コスト	自然修復のためのコスト	地下水汲み上げ		996	
	環境保全に関する損害賠償等のためのコスト				
	環境の損傷に対応する引当金繰入額及び保険料				
小計				996	
合計			46,751	97,180	

環境会計

項目	内容	金額
当該期間の投資額の総額	排水処理設備、洗浄設備	46,751
当該期間の研究開発費の総額		
(1)-3に係る有価物等の売却額		
(2)に係る有価物等の売却額	スクラップ、段ボール等	18,000

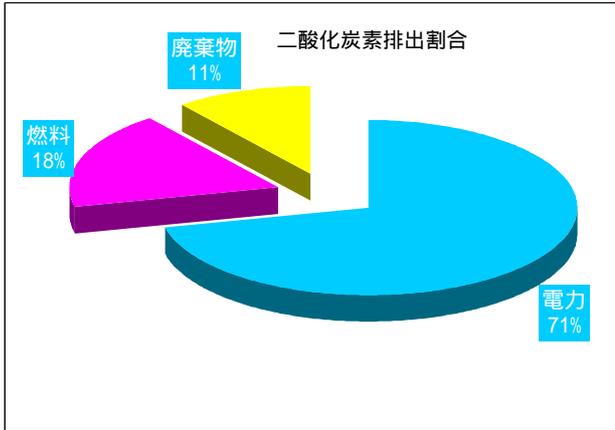
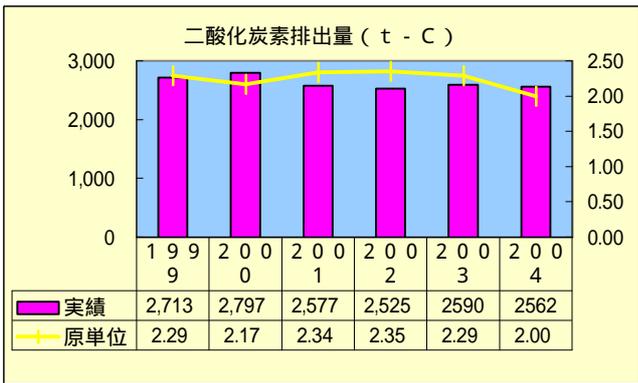
環境保全効果	環境負荷指標	比較指標		
効果の内容	項目	2004年原	総量	2003年原単位
事業エリア内コストに対応する効果	CO2排出量	2.00	2,562 t	2.29
	電力購入量	14.41	1,845万K	15.30
	燃料購入量	57.90	741 K	66.28
	廃棄物排出量	1.30	1,664 t	1.21
	リサイクル率	81%		68%
	水質汚濁物質量	0.52	6.66 t	0.63

環境保全対策に伴う経済効果		- 実質的效果
効果の内容		金額
収益	リサイクルによる事業収入	18,000
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	7,177
	リサイクル、削減に伴う廃棄物処理費の節減	
	省資源に伴う廃棄物処理費の節減	
合計		25,177



2004年環境パフォーマンスデータ

二酸化炭素排出量



二酸化炭素排出量は、対前年度比 28 Kg - C (99%) の削減にとどまりました。廃棄物、燃料の削減はできましたが、電力量が増加したため、昨年とほぼ同等となりました。



コンプレッサの統廃合、照明の自動点滅方式により 282千KWh の削減対策を実施しました。全体としては生産電力、空調電力の増加により対前年度比 112千KWh (106%) の増加となりました。

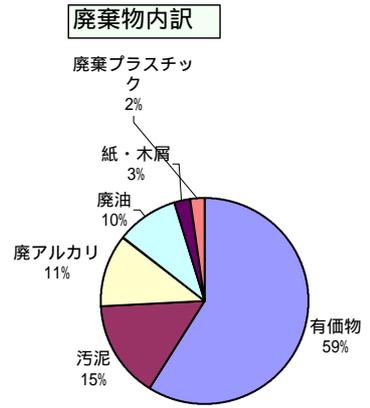
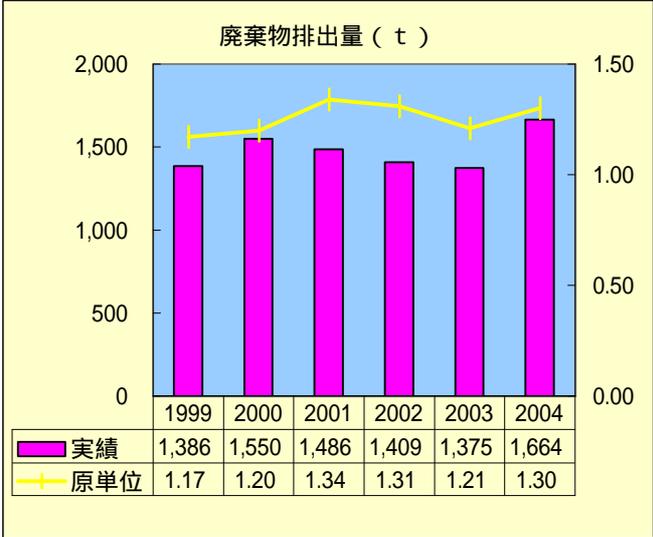
灯油等の削減を行いました。LPGが増加したため、対前年度比重油換算値 10Kℓ (99%) 減と昨年とほぼ同等となりました。



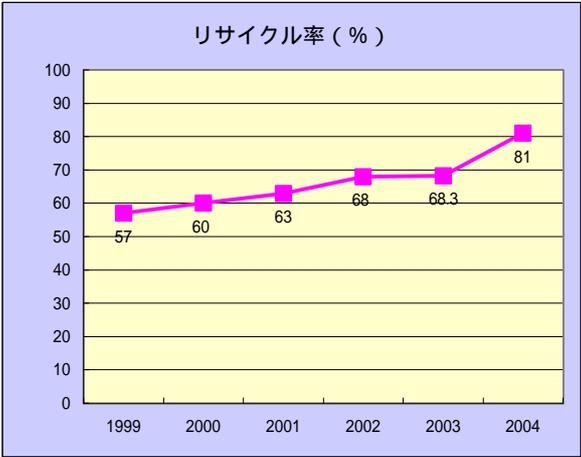
統廃合用に新設したコンプレッサ

2004年環境パフォーマンスデータ

廃棄物排出量



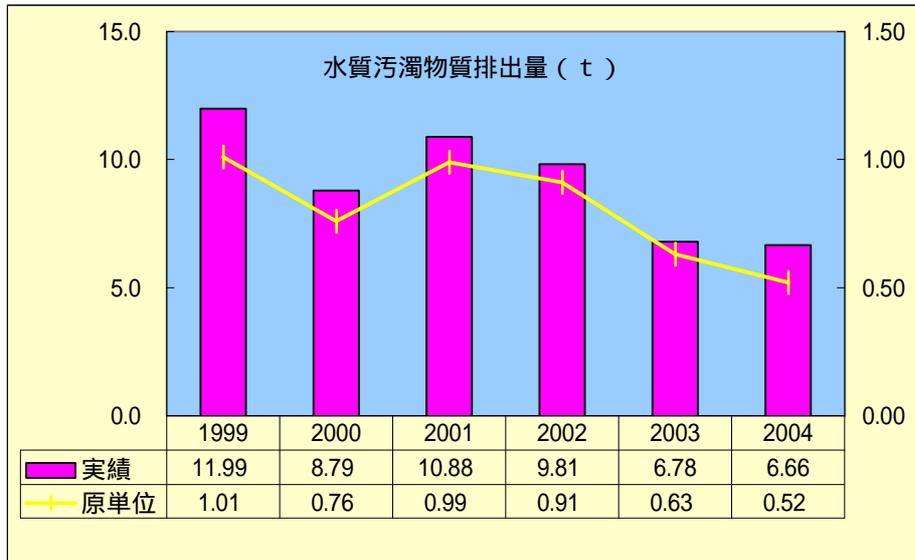
有価物の増加により対前年度比 289 t (121%) の増加となりました。



汚泥のリサイクル化を進め、埋立廃棄物を大幅に削減でき、リサイクル率が向上しました。埋立廃棄物は2%となりました。残りの焼却廃棄物のリサイクル化を進めてまいります。

2004年環境パフォーマンスデータ

水質汚濁物質



排水量の削減により、水質汚濁物質を図ってまいりましたが、平均濃度の増加により、昨年と同様の排出量となりました。

測定項目	規制値		測定値(mg/l)	
	府の基準	社内基準	平均値	最大値
水素イオン濃度 (PH)	5.8-8.6	6.0-8.0	6.2~7.6	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	160	20	4.8	10.8
浮遊物質 (SS)	200	20	5.2	11.0
n-ヘキサン抽出物質 (鉱物油)	5.0	3.0	1.7	3.0
六価クロム	0.5	0.2	0.2	0.49
全クロム	2.0	0.5	0.2	0.94
亜鉛	5.0	2.0	1.4	3.74
ニッケル	2.0	1.0	0.2	1.12
銅	3.0	1.0	ND	0.86
溶解性鉄	10.0	2.0	0.1	1.41

排水濃度状況

三価クロメートの生産を開始し、一時排水中に六価クロムが検出されるようになりました。この現象を回避すべく、三価専用排水処理ラインを設置し、六価クロムの発生を抑制しています。専用処理ラインの設置まで処理水が安定せず、社内基準値を越えてしまいました。



三価専用排水処理装置

2004年環境パフォーマンスデータ

化学物質管理 (P R T R)

番 号	物質番 号	原材料、資材等名称	2004年年間取扱量					2003年	
			年間購入量	製造品搬出 量	最大潜在排 出量	水系排出量	廃棄物移動 量	大気放出 量	年間購入量
			Kg / 年	Kg / 年	Kg / 年	Kg / 年	Kg / 年	Kg / 年	Kg / 年
1	1	亜鉛化合物 (亜鉛として)	43,954	74		1,110	42,746		50,668
2	68	三価クロム化合物 (クロムとして)	1,849				45		110
3	69	六価クロム化合物 (クロムとして)	247	1		24	1,494		2,898
4	100	コバルト (コバルトとして)	1,532				21		0
5	132	フロン141b	14,960				7,480	7,480	19,340
6	145	ジクロロメタン (塩化メチレン)	32,700				16,350	16,350	21,050
7	232	ニッケル化合物 (ニッケルとして)	3,276	5		71	3,200		2,442
8	283	フッ酸 (フッ素として)	64				133		181
		計	98,582	80		1,205	71,469	23,830	96,689

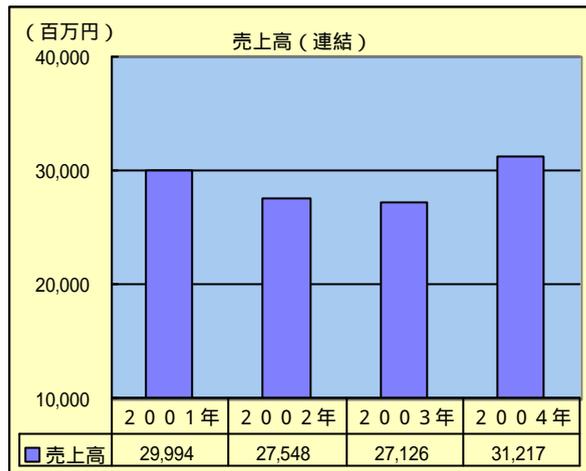
洗浄方法の変更

溶剤洗浄をアルカリ洗浄に変更するために、アルカリ洗浄機を新設しました。



会社概要

売上高推移（連結）



主な事業内容

ファスナー事業部	産機事業部	制御システム事業部
工業用ファスナー ・ねじ ・ねじ部品 ・リベット ・特殊形状部品 ・ドライバビット	自動組立機械 ・ねじ締め機 ・リベットかしめ機 ・部品供給機 ・組立ロボット ・コンベア ・自動組立装置	計測制御機器 ・流量計 ・LPガスディスペンサ ・データロガー ・排水処理装置 ・計装システム

ねじ製品



ニトマンコンパクトねじロボ
SR370Y



地質調査機
ジオカルテ



本報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は、本社工場、八田工場です。
2. 報告期間は、2004年1月1日～2004年12月31日です。
3. 報告対象は、環境分野です。

会社概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者名 日東精工株式会社
代表者名 取締役社長 由良 龍文

(2) 所在地 (本社工場)

〒 6 2 3 - 0 0 5 4

京都府綾部市井倉町梅ヶ畑 2 0 番地
0 7 7 3 - 4 2 - 3 1 1 1 (代表)

URL:<http://www.nittoseiko.co.jp/>

他に (八田工場) (制御システム工場) (城山工場)

(3) 事業内容

- ・工業用ファスナー (小ねじ類) の製造、販売
- ・各種自動組立機の製造、販売
- ・各種流量計の製造、販売

(4) 事業の規模 (平成 1 6 年 1 2 月 3 1 日現在)

- ・資本金 3 , 5 2 2 百万円
- ・売上高 3 1 , 2 1 7 百万円 (連結)
- ・従業員数 8 0 4 名
- ・敷地面積 1 8 9 , 4 6 0 m²
- ・延床面積 7 0 , 4 0 2 m²

(5) 環境管理関係の責任者及び担当連絡先

責任者 専務取締役 塩田 展康
" 生産技術部長 芦田 敏明
担当者 生産技術部環境整備課主管 西田 好郎
連絡先 0 7 7 3 - 4 2 - 8 9 1 5
FAX 0 7 7 3 - 4 3 - 2 2 2 7
e-mail:kankyo@nittoseiko.com
発行所 : 全社環境事務局
生産技術部環境整備課

アンケート

ご意見・ご感想をお寄せください

お手数ですがこの報告書についてアンケートに回答いただければ幸いです。メールまたはFAXにてお寄せください。今後の活動と報告に活用させていただきます。

1. この報告書の表現はいかがですか。該当するものをお選びください。

わかりにくい
普通
よくわかる

2. この報告書の内容はいかがですか。該当するものをお選びください。

不十分
普通
十分
ご意見

3. 日東精工の環境活動についてどう感じられましたか

活動が不十分
まずまず活動している
積極的に行っている

4. その他ご意見をお寄せください

ご回答ありがとうございました。

下記に連絡をお願い致します

日東精工株式会社

環境整備課

e-mail : kankyo@nittoseiko.com

FAX : 0773-43-2227